

車椅子アートプロジェクト vol.2「チバリアフリー（チバフリ）」を開催します！ ～障害者も健常者も一緒になって表現するファッションやダンスなどのパフォーマンスショー～

千葉市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた文化芸術の取り組みとして、車椅子をメインテーマに、障害者と健常者が一緒になって表現するファッションとダンスのパフォーマンスショー、車椅子アートプロジェクト「チバリアフリー（チバフリ）」を東京2020公認文化オリンピックアードとして開催しますので、お知らせします。

1 趣旨・目的

車椅子アートプロジェクトは、第2次千葉市文化芸術振興計画における東京オリンピック・パラリンピックに向けた重点プロジェクトとして平成28年度から開催しており、今回は第2回目の開催として、障害者と健常者が共に出演するファッションショーや、車椅子ダンサーによるパフォーマンスに加え、新たに手話パフォーマンスを地元大学や団体等と連携しながら実施し、本市の文化を発信するとともに、多様性に対応した共生社会の実現を目指している。

「チバリアフリー」は、障害者、健常者などの区別なく、多様な人達がみんなで行う文化芸術活動を応援する「千葉市」発信の「バリアフリー」な取り組みである。

2 イベント概要（別添チラシ参照（※千葉デザイナー学院の学生がチラシデザイン））

- (1) 日時 平成30年1月28日（日） 13:00～13:45（1回目）
15:00～15:45（2回目）
※1回目と2回目は同じ内容です。
- (2) 会場 イオンモール幕張新都心（美浜区豊砂1-1） グランドモール1階 グランドコート
- (3) 料金 無料
- (4) 内容 3つの要素で構成された45分間の特別なパフォーマンス

バリアフリー・ファッションショー	千葉ゆかりのパラスポーツ選手の他、今年度は新たに公募した市内在住または在学の特別支援学校の学生など様々なモデルが出演するショーを、障害の有無を問わずに楽しめるファッションブランド「tenbo（テンボ）」がプロデュースする。（千葉市立高等特別支援学校の縫製・織物班の学生が作業学習の中で織った生地をショーの衣装に使用する。）
バリアフリー・ダンスパフォーマンス	リオ2016パラリンピック競技大会の閉会式の旗引き継ぎ式に出演した車椅子ダンサーの「かんばらけんた」さんが、ダンスパフォーマンスを行う。
手話パフォーマンス	プロの手話パフォーマーRIMIさんと県立千葉豊学校の中・高専部・専攻科の学生、淑徳大学手話サークル「たんぽぽ」の学生が、観客一体型の手話によるパフォーマンスを行う。

(5) 同時開催イベント

- 千葉市立高等特別支援学校の作業学習の様子をパネル展示 10:00～17:00
- スポーツ用車椅子展示 10:00～17:00
- 電動車椅子試乗体験コーナー 10:30～13:00 / 13:45～15:00
15:45～17:00

3 主催 車椅子アートプロジェクト実行委員会（千葉市・公益財団法人千葉市文化振興財団・淑徳大学）

4 協力 千葉ビューティーアート専門学校 / 千葉デザイナー学院 / 学生団体おりがみ
淑徳大学手話サークル「たんぽぽ」 / 千葉市立高等特別支援学校

「東京2020公認文化オリンピックアード」について

文化オリンピックアードは、東京2020大会に向けたオリンピック・パラリンピックの機運醸成と、その先のレガシー創出に向けて、オールジャパンで取り組む参加型の文化芸術のプログラムであって、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から認証を受けたもの。

今回実施する「チバリアフリー（チバフリ）」も、昨年の開催に続いて、その認証を受けている。